浄土真宗本願寺派 順光寺 寺報

順光寺だより

第9号

2024（令和6）年7月1日発行

庫裡の玄関前に咲くガクアジサイ。梅雨の時期、順光寺を訪れた皆さまを歓迎します。

住 職 挨 拶

順光寺住職　籠　純吾

慈光照護のもと、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

昨年、話題となった「AI（人工知能）」。これから、私たちの生活や仕事にどのような影響を与えるのでしょうか。

技術が進むと、「人がしていた仕事がコンピューターに取って代わられるかもしれない」と、心配する声もあります。

しかし、全部の仕事がそうなるわけではなく、人間にしかできない特別な仕事もあります。これからの社会や仕事の形は、「人にしかできないこと」が大切になってくるのではないでしょうか。

門信徒の皆さまのお力添えをいただきながら、住職として7年目を迎えました。これからも、研鑽を深め、門信徒の皆さまのお気持ちに寄り添えるお寺であり続けたいと考えています。

総代長挨拶

順光寺総代長　福井昭夫

寺報「順光寺だより」第９号をお届けいたします。編集委員の皆さまに厚く感謝申しあげます。

昨年の門信徒総会では、順光寺ご門徒の本多先生が主宰されている「葵ハープ教室」の皆さんの演奏を楽しんでいただきました。また、昨年の報恩講法要では、「順光寺大正琴教室」の皆さんによる演奏をご披露いただきました。

順光寺では、門信徒の皆さま・地域の皆さまに積極的にご参画いただきながら、寺院の活性化が図られています。

この「順光寺だより」は、門信徒の皆さまと順光寺の大切なコミュニケーションツールです。ご意見・ご要望などをお寄せいただき、今後とも積極的なご参画をお願いいたします。

題　　字：順光寺前住職　籠 博道
表紙写真：順 光 寺 住 職　籠 純吾

順光寺トピックス

2023年度は、境内各所の整備を行いました。

井戸ポンプ

順光寺の名物のひとつ、水汲み場の井戸ポンプ。経年により壊れていましたが、本体を新調しました。お墓参りに来られた際、お使いください。

ポンプから出る水は飲料用ではありませんので、ご注意ください。

向拝

向拝（本堂正面の階段部分）の木を撥水加工しました。カビが生えるのを防止するためです。

墓地壁

墓地のコンクリート壁を補修。経年により破損が目立っていた箇所です。

駐車場の看板

本堂裏の駐車場の看板を新調。色落ちが目立っていたので、新たに設置しました。

外壁

本堂裏手に外壁を設置。公共空間と寺族のプライベート空間の境目を作るためです。

2023（令和5）年度　行事報告

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要〈4月10日・11日〉

本山（京都・西本願寺）で、親鸞聖人のご誕生を祝い「立教開宗」に感謝する法要がお勤まりになりました。松江組の団体参拝に、順光寺から４人が参加しました。

婦人会お花見〈4月20日〉

2023年11月に運行終了となった、JR木次線のトロッコ列車「奥出雲おろち号」に乗車しました。天候に恵まれ、みんなで景色を楽しみました。

門信徒総会・ハープ演奏会〈6月12日〉

2022年度の事業報告・決算報告、2023年度の事業計画・予算などについて、ご意見をいただきました。総会後は、順光寺で開かれている「葵ハープ教室」の皆さんによるハープ演奏会。素敵な音色が本堂に響きました。

盆前清掃〈8月5日〉

お盆前の一斉清掃。ご門徒の皆さまと一緒に本堂や境内のお掃除、仏具のお磨きを行いました。
今年も、気持ちよくお盆をお迎えすることができました。ありがとうございました。

盆合同法要〈8月15日〉

前年から始めた「盆合同法要」。8月15日の午後２時から、本堂で一緒にお盆のお勤めをさせていただきました。

報恩講〈11月5日〉

浄土真宗の教えをお遺しくださった宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、お聴聞をさせていただく法要。浄土真宗の寺院では、年間を通して最も大切とされる法要です。
ご講師は、佐々木かおり師（益田市・明顯寺 住職）。ご門徒の皆さまと一緒にお聴聞させていただきました。
休憩時間には、順光寺大正琴教室の皆さんによる演奏が行われました。

元旦会〈1月1日〉

年の初めに御仏前にお礼をし、心を新たにする法要です。
今年から、コロナ禍で中止していたお抹茶接待を再開しました。

春彼岸・永代経法要〈3月21日〉

亡き人をご縁とし、故人を偲びながら、ご自身が聞法のご縁をいただく法要。毎年、春のお彼岸の中日にお勤めしています。
阿弥陀経をお勤めし、住職からお話をさせていただきました。

仏事Q&A

ご法事について

ご法事は、私たちにとって最も身近な仏事で、故人を偲びながら仏さまの願いを聞かせていただく仏教行事です。
故人は、阿弥陀如来さまの救いによって、お浄土にお生まれになり、仏さまになっておられます。
したがって、浄土真宗のご法事は、故人のために行う追善供養ではなく、ご縁のある人が集まって、ともに仏さまを敬い、その教えを聞かせていただく「私たちのための」法要なのです。
── 今回は、ご法事について、よくいただくご質問を紹介します。

法事は命日に合わせる必要がありますか？

ご法事は、故人を偲びながら、なるべく多くの方に仏さまのご縁に遇っていただきたいものです。ご命日に合わせ、その前後でご予定を組んでください。

「初盆」とはいつお勤めするのでしょうか？

四十九日のご法事をお勤めした後、最初のお盆を「初盆」としてお参りさせていただきます。亡くなられた方を偲ぶご縁です。できるだけご親族の皆さまでお勤めください。
なお、ご命日が6月後半から8月前半で、四十九日のご法事がお盆以降となった場合、翌年のお盆に「初盆」としてお勤めいたします。

法事のお勤めはお寺でしょうか？自宅でしょうか？

どちらでもお勤めさせていただきます。
事前にご相談ください。

本堂での法事の場合、車で参拝することは可能でしょうか？

10台程度の駐車スペースがございます。

法事の参拝者は何を持参したら良いでしょうか？

聖典（お経本）、門徒式章、お念珠（ねんじゅ）をお持ちください。
（貸出用もございます）

本堂での法事は正座でしょうか？

椅子がありますのでお使いください。

着替えさせていただきたいのですが…。

本堂隣にある仏間（和室・八畳二間）をご利用ください。

本堂で法事をお勤めした後、お寺でお斎（お食事）をいただくことはできますか？

仏間（和室・八畳二間）で、ご法事の後のご会食にお使いいただけます。

法事のことでお寺に相談しても良いですか？

ご法事のことでわからないことやお悩みごとがあれば、まずはお寺にご相談ください。

順光寺SNSのご案内

順光寺の公式LINE・SNSで、ご門徒の皆さまに順光寺の情報を発信します。ご利用の方はぜひフォローをお願いします。

LINE　@JUNKOUJI_MATSUE　@NAGATANI_JUNGO　@JUNKOUJI_BOUMORI

浄土真宗本願寺派順光寺寺報
順光寺だより　第9号
2024（令和6）年7月1日発行
編集　順光寺寺報編集委員会
発行　浄土真宗本願寺派
豊饒山 順光寺
印刷　株式会社谷口印刷

浄土真宗本願寺派 順光寺

揮毫：細田青秀氏（順光寺ご門徒）

〒690-0881　松江市石橋町44
TEL 0852-23-3718　FAX 0852-67-3276
E-mail　info@junkouji.or.jp
公式サイト　https://junkouji.or.jp
順光寺　検索
junkouji.matsue　@Junkouji　junkouji_matsue

お盆

法話・写真　籠 純吾（住職）

弥陀の回向成就して
往相・還相ふたつなり
これらの回向によりてこそ
心行ともにえしむなれ
（高僧和讃）

お盆には、多くの方がお墓参りをされることでしょう。お寺にお盆参りのご依頼をされたり、盆合同法要にお参りの方もおられると思います。また、この１年間に家族を亡くされた方々にとっては、初盆を迎える時期でもあります。

この時期になると、
「盆提灯は飾るものなんでしょうか？」
と、聞かれることが多くなります。

飾っても良いですし、飾らなくても構いません。ですが、盆提灯はご先祖が帰ってくる目印という意味ではありません。

浄土真宗のみ教えでは、亡くなられた方は、阿弥陀如来さまのおはたらきによって、すでにお浄土で仏さまとしてお生まれになっておられます。

そして、いつでもどんなときでも、私たちを優しく見守り導いてくださっています。お盆の時にだけ帰ってこられるわけではないのです。

同じ理由で、「精霊棚」も用いませんし、「棚経」という言い方もありません。ナスやキュウリをご先祖の乗り物に見立てることもありません。

お盆は、ご先祖への感謝の思いから、仏法に遇わせていただくご縁です。
「いのちは、さまざまなご縁によって成り立っているんだよ。」
「いのちには、限りがあるんだよ。」
「お浄土でまた会いましょうね。」
と、仏さまは私たちを導いてくださいます。

お盆の時期は、ご家族・ご親戚が集まる時期です。お盆の習慣を機縁として、ご一緒にご先祖や亡くなられた方々を偲びながら、自分自身のいのちを見つめ、そして、仏さまのお導きに報恩の想いでお参りさせていただきましょう。